

民主党・無所属の会

高木 まり

市政レポート (2009年4月号)

発行所: 高木まり事務所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-16-19

TEL:048-654-2559 FAX:048-652-6445 E-mail: takagi@marit.jp

高木まり
プロフィール

1967年生まれ
東京大学法学部卒
東京銀行勤務
枝野幸男秘書を経て
2003年さいたま市議会議員
初当選 現在2期目
<http://www.marit.jp>



経済危機だからこそ、市民を支えられる市でなくては

昨年来の世界的な経済危機の影響で、生活保護受給者が前年比で89%増となるなど、市民生活にも大きな影響が現れています。H21年度予算の審査にあたり、高木まりは、市民をしっかりと支えられる予算になっているかという視点を重視して、質問を行いました。



↑予算委員会で、建設・水道部門を質問

高木

景気の落ち込みで収入が細り、家賃が払えなくなって住宅に困る人々が増えるが、市営住宅はいっぱいで入居できない。「住」は生活を守る砦である。家賃補助などの形で、生活保護を受けなくてすむよう、市が支えるべきと考えるが、見解は？

>>市の答え：制度設計が難しく、財政厳しい折困難と思われる。

⇒ 先進諸国では家賃補助が広く行われており、研究すれば実現可能です。

高木

経済が悪いときこそ、(もちろんムダな工事はやめるが)必要な工事は仕事量の観点から、しっかり確保するということが大切と考えるが、建設局から発注される全工事量は昨年度に比してどうか？

>>市の答え：21億873万3千円の増額である。市民要望の高い「生活道路整備事業」や「下水道整備事業」で増額をはかった。

ここはしっかり対応できていると判断します。

◎ その他、今年度予算のうち経済危機対策で評価できるもの

- ・中小企業資金融資枠の拡大 対前年度比 109億円増
- ・就労支援策として(仮称)キャリアサポート事業の実施

▼ 更に対策が必要と思われるもの

- ・生活困窮者を総合的に支える部局横断的な政策システムの構築
- ・生活保護受給者の増加に合わせてケースワーカーの増員

研究します

今、市民の皆さんの生活がとて厳しくなっています。市からお願いしている税金や保険料、利用料などの負担が、最終的に実際の家計にどのような影響を及ぼしているか、今年度会派で実態調査を行うことになりました。調査を踏まえ、改めて市民負担を見直していきたいと思います。

さいたま市今年の予算は・・・

一般会計	3,912億円	(教育・福祉・まちづくりなどの市の基本サービス)
特別会計	1,746億円	(国保・介護保険ほか15事業)
企業会計	1,115億円	(上下水道・市立病院)

予算総額 6,773億円

※ 市民一人あたりの借金の残高 53.1万円
(H21年度末見込み)